



住まいの安全対策

備え

いつ大きな地震が起きても大丈夫なように、耐震改修して住宅を補強しておくことが大切です。

住まいの安全対策ポイント

戸建て住宅やマンションの耐震診断および耐震改修を行う方に、次の費用の一部を補助します。対象は、昭和56年5月以前に着工した住宅です。

STEP
1

簡易耐震診断を受けましょう

(簡易耐震診断推進事業)

無料で専門家による簡易耐震診断を受けることができます。



(出典：国立研究開発法人防災科学技術研究所より)

STEP
2

耐震改修を計画しましょう (住宅耐震化促進事業)

耐震性が低いと診断された住宅は、どこを補強すればよいか改修の計画をします。

<補助金額>

戸建て住宅	共同住宅※
補助対象経費の3分の2(上限20万円)	補助対象経費の3分の2(上限12万円/戸)

(令和3年10月現在)

STEP
3

耐震改修工事を実施しましょう (住宅耐震化促進事業)

改修計画が決まれば、実際に住宅の補強工事を行います。

<補助金額>

戸建て住宅	共同住宅※
補助対象経費の5分の4(上限110万円)	補助対象経費の5分の4(上限60万円/戸)

(令和3年10月現在)

※共同住宅で3階以上かつ1,000㎡以上の場合は条件や補助金算定方法が異なるため個別に協議が必要です。

その他補助メニュー(部分改修・建替え・防災ベッド)や詳しい補助条件については、[建築指導課](#)にお問い合わせください。 **0797-38-2114**

●フェニックス共済 (兵庫県住宅再建共済制度) への加入

ご加入いただくことにより、平常時から資金を寄せ合い、自然災害で被害を受けた住宅と家財の再建や購入を支援する共助のしくみです

県内に住宅(戸建て・マンションなど)をお持ちの方に

県内の住宅(借家も含む)にお住まいの方に

住宅再建共済制度

年額5,000円で

最大**600万円**給付

損害割合 20% (半壊) 以上

準半壊特約

年額500円で

補修等に
25万円給付

損害割合 10%以上20% 未満

家財再建共済制度

単独加入

年額1,500円で

住宅とセット
加入の場合

年額1,000円で

最大**50万円**給付

床上浸水・半壊以上

阪神・淡路大震災の教訓を活かして
兵庫県が実施する制度です

フェニックス共済



お申し込み・お問い合わせは、
公益財団法人 兵庫県住宅再建共済基金の
ホームページまたはコールセンターへ！

コールセンター ☎ 078-362-9400
(平日 9:00 ~ 17:00)

FAX 078-362-4082

フェニックス共済 検索

※被害認定は、芦屋市が発行する「り災証明書」によります。



マンション防災

備え

芦屋市内には、約6割以上の世帯がマンションで生活をしています。地震発生時のマンションでは、建物自体に被害がなくても、ライフラインの停止などにより避難を余儀なくされることがあります。

マンションで備えることは？

- 家具などの固定をしましょう。
- 回転備蓄（ローリングストック）で、ライフラインの停止に備えましょう。
- 迅速な安否確認のため、フロアごとに担当者を決めるなどの体制を整えましょう。
- いざというときのために、近隣自治会などと合同訓練を実施するなど、地域とつながりを持ちましょう。

エレベーターが止まったら・・・

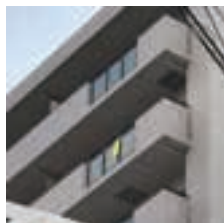
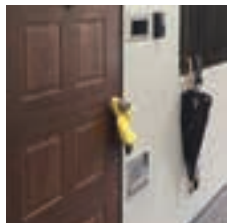
- 全ての階のボタンを押し、停止した階で降りましょう。
- 閉じ込められたら、非常電話のボタンを押し続けて、救助を待ちましょう。



※地震を感知し、最寄りの階で停止するエレベーターもあります。

地域でのマンション防災の取り組み事例

打出小槌町自主防災・防犯会では、要配慮者の安否確認訓練の中で、マンション居住者においてもベランダ、ドアノブなどに身の安全を伝える「黄色旗」を掲げる迅速な安否情報収集体制作りに取り組んでいます。

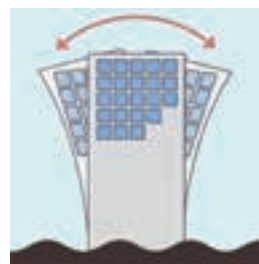


高層階は大きく長く揺れやすい

マンションなどの高層階の建物は、戸建てに比べて、長周期地震動※により大きく揺れます。

- 高層階ほど、揺れは長く続きます。
- 長い周期の波は遠くまで伝わりやすい性質があります。

※大きな地震が発生したときに生じる、周期（1往復するのにかかる時間）が長い揺れのこと。



高層ビルの高層階は大きく長時間揺れます

● フェニックス共済の「マンション共用部分再建共済制度」への加入

自然災害で被害を受けた「マンション共有部分」の再建・補修を支援します

- 加入対象：県内のマンション管理組合等が、1棟（全戸数）まとめて加入



兵庫県が実施する

フェニックス共済

詳しくは、公益財団法人 兵庫県住宅再建共済基金のホームページまたはコールセンターへ！

コールセンター ☎ 078-362-9400 (平日 9:00 ~ 17:00)

FAX 078-362-4082

フェニックス共済 検索

マンション共用部分再建共済制度

1戸あたり 年額 2,400 円の掛金で

再建の場合 1戸あたり 最大 300 万円 給付

補修の場合 1戸あたり 最大 100 万円 給付

損害割合 20%（半壊）以上 ※補修の場合は損害割合に応じて給付

準半壊特約

1戸あたり 年額 250 円の掛金で

再建・補修の場合

1戸あたり 12.5 万円 給付

損害割合 10%以上20% 未満

※被害認定は、芦屋市が発行する「り災証明書」によります。

個人加入はP25参照





家の中の安全対策

備え

大規模な地震の場合、部屋の中の棚や物などが移動したり飛んでくることもあります。普段過ごす部屋の危険を減らしていくことで、家の中の安全性を高めていきましょう。また、災害時に発生するおそれのある火災への備えも確認しておきましょう。

家の中の安全対策ポイント



ポイント
1

家の中に、家具のない安全なスペースを確保する



ポイント
2

寝室や、子ども・高齢者・障がいのある人がいる部屋には、倒れそうな家具を置かない



ポイント
3

出入り口や通路には物を置かない



ポイント
4

家具の転倒や落下を防止する対策を講じる

家具・家電の転倒・落下・移動の防止（例）

家具・家電の転倒防止には、ネジ止めが最も効果的ですが、壁に穴を開けられない場合は、家具・家電と天井の間にポール式器具を突っ張って固定する方法等でも一定の効果があります。転倒防止は2種類以上の器具を組み合わせれば、強度がアップします。

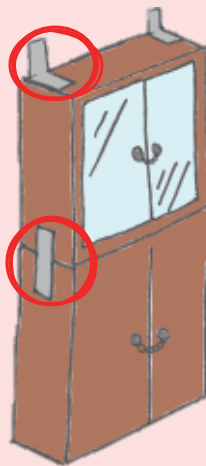


ポール式器具

天板と天井の間を突っ張る形で、家具を固定します。床や天井の強度を確認してから取り付けます。

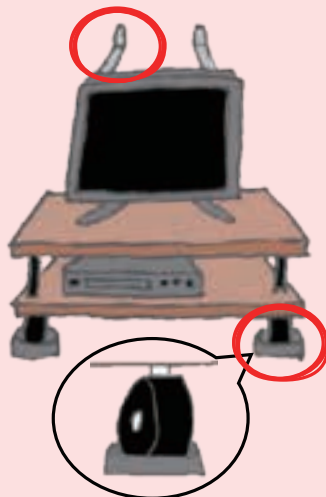
ストッパー式器具

ポール式器具を使用するときに併用します。



L型・平型金物

壁と家具をネジで固定するL字型の金具です。壁下地の柱に取り付けます。

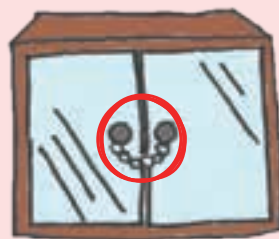


ベルト固定

薄型テレビはとても倒れやすく重たいので危険です。壁やテレビ台にベルトで固定します。

キャスター固定

キャスター付きの家具はすべります。キャスターロックをかけた後、下皿を設置します。



開き戸ストッパー

棚の中身が飛び出すとけがや避難の妨げにもなるため、扉が開かないように固定します。

ガラス飛散防止フィルム

揺れによりガラスが割れて床に飛び散ると歩けなくなります。フィルムシートを貼っておけば片付けも楽になります。

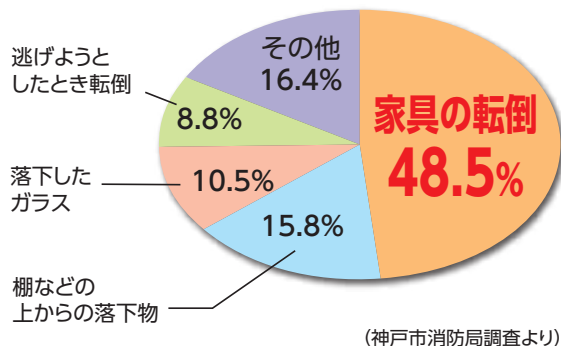
芦屋市家具転倒防止推進事業補助金

地震による家具などの転倒は、居住者にとって避難の妨げになるだけでなく、自身の命を落とす要因にもなります。

そういった被害から少しでも身を守るため、芦屋市では**高齢者や障がいのある人**を対象に、家具などに転倒防止器具を取り付けるなどの**工事に必要な費用の一部(上限5,200円)**を補助する、家具転倒防止推進事業を実施しています。

なお、器具の購入費用は対象外となります。

阪神・淡路大震災でけがをした人の原因



補助金については、防災安全課にお問い合わせください。 **0797-38-2093**

通電火災を防ぐ

ポイント
1

大きな揺れの後は、使用中の電気機器類のスイッチを切る。また、避難するときには、ブレーカーを落とす。

ポイント
2

地震後、ガス漏れや配線器具の損傷の有無などの安全確認をしてから使用する。

ポイント
3

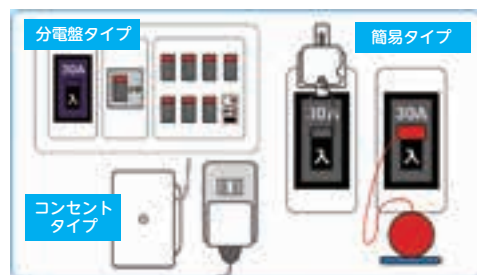
電気火災対策として、感震ブレーカーの設置を検討する。
(在宅医療機器など、急に電気が止まっても困らないための対策と合わせて取り組むことが必要)

感震ブレーカーとは??

感震ブレーカーは、地震発生時に一定の揺れを感知した場合に自動的にブレーカーを落として、通電を遮断する装置です。

阪神・淡路大震災や東日本大震災では、電気器具の転倒等による火災や停電復旧時に発生する電気火災が多発しました。

このような震災時における火災に対する出火防止対策として感震ブレーカーが有効です。



(消防庁ホームページより)

火災への備え

- 火災による煙や熱を感知し、音声などの警報を発する住宅用火災警報器を設置する。
- 被害拡大を防ぐために消火器を備える。

火災発生!

初期対応の3原則を覚えよう

出火の現場に居合わせたらまず「通報」、それから「初期消火」「避難」の順番で行動するのが原則です。

行動
1

通報!



行動
2

初期消火



行動
3

避難



感震ブレーカー、住宅用火災警報器、消火器の取扱いについては、**消防本部予防課**にお問い合わせください。 **0797-32-2345**



備蓄を進めよう

備え

備蓄は災害への備えの第一歩です。自分や家族に合った品を選び、普段の買い物のときに少し多めに買っておくなどして備蓄しておきましょう。特に飲料水・食料はできる限り1人1週間分、最低でも3日分を目安に備えましょう。

※本誌で紹介している物は一例です。全てを必ず用意する必要はなく自分に合った備蓄を進めましょう。

食品

非常時は炭水化物など栄養の偏りが考えられます。また、お湯があれば温かい食事もとれますので、できる限りいろいろな種類の非常食を用意しておきましょう。

飲料水

1人1日3リットルが目安です。



ごはん、パン類

お湯や水を注ぐだけで完成するごはんやそのまま食べられるパンがおすすめです。



レトルト食品

種類が豊富なので、自分の好みに合った物を備えておきましょう。



缶詰類

保存がききます。調理の必要がなくそのまま食べられる物が災害時は役立ちます。



インスタント食品

カップラーメンやみそ汁など種類が豊富です。お湯を注ぐだけで完成します。



菓子類

電気やガスがなくても食べられ、手軽にエネルギーを補給できます。ストレス解消にも効果的。



好きな食べ物

自分の好きな食べ物を普段よりも多く買って備蓄しましょう。



介護食・アレルギー対応食

ご自身の体調や体質に合った食べ物を用意しましょう。



乳幼児用の菓子

災害時は乳幼児も不安になります。少しでも不安が和らぐように食べ慣れているお菓子を用意しておきましょう。



離乳食・ミルク

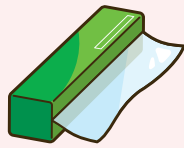
赤ちゃんが普段から食べているものを多めに買っておきましょう。月齢によって見直しが必要になる場合もあるので、注意が必要です。



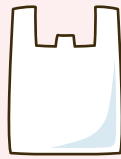
生活用品



使い捨て食器



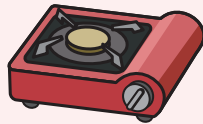
食品用ラップ



ポリ袋



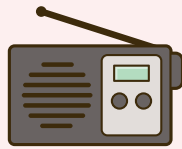
ごみ袋



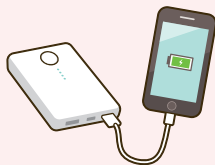
カセットコンロ、ガスボンベ



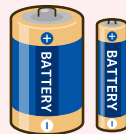
懐中電灯、ランタン



携帯ラジオ



モバイルバッテリー



乾電池

衛生用品



簡易(携帯)トイレ



トイレットペーパー



ティッシュペーパー



ドライシャンプー



クレンジングシート



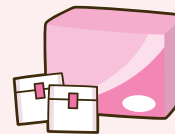
赤ちゃん用おしりふき



ウェットティッシュ



マウスウォッシュ



生理用品



おむつ

ライフラインやエレベーターの停止なども想定し、必要となる生活用品や衛生用品などを準備しておきましょう。

回転備蓄(ローリングストック)で備える

普段利用している食料品や生活用品を少し多めに購入し、消費した分を補充することで、常に一定量の備蓄品を確保することができます。これが「ローリングストック」です。消費期限切れを防ぎ、いざというときに役立ちます。

ポイント
1

古い物から
使いましょう。

消費するときは、必ず一番古い
物から使うようにしましょう。

ポイント
2

使った分は、
必ず補充しましょう。

ローリングストックで備蓄して
いる物は、いつ消費しても構
いませんが、消費した分を必
ず買い足しましょう。

1

最初に多めに購入する。

消費期限内に使い切る量が目安。

2

消費期限
の短い物から
順番に使う。

2と3を
繰り返す

3

消費した分を
補充し、いつも
一定量に保つ。